

一次研究用フォーム		データ記入欄	
基本情報	対象疾患	悪性黒色腫	
	タイプ		
タイトル情報	論文の英語タイトル	Computed tomography in staging of patients with melanoma metastatic to the regional nodes	
	論文の日本語タイトル	所属リンパ節転移を有する黒色腫患者における CT スキャンによる病期決定	
診療ガイドライン情報	ガイドラインでの引用有無	1.有り 2.無し (1)	
	ガイドライン上での目次名称	MMC Q 2 3 - 8	
書誌情報	エビデンスのレベル分類	I. システマティック・レビュー／メタアナリシス II. 1 つ以上のランダム化比較試験 III. 非ランダム化比較試験 IV. 分析疫学的研究（コホート研究や症例対照研究） V. 記述研究（症例報告やケースシリーズ） VI. 患者データに基づかない、専門委員会や専門家個人の意見 (IV)	
	Pubmed ID	9259966	
	医中誌 ID		
	雑誌名	Ann Surg Oncol	
	雑誌 ID		
	巻	4	
	号	5	
	ページ	396-402	
	ISSN ナンバー		
	雑誌分野	1.医学 2.歯学 3.看護 4.その他 (1)	
	原本言語	1.日本語 2.英語 3.ドイツ語 4.その他 (2)	
	発行年月	1997、Jul-Aug	
著者情報		氏名	所属機関
	筆頭著者	Johnson, T. M.	Department of Dermatology, University of Michigan Medical Center
	その他著者 1	Fader, D. J.	
	その他著者 2	Chang, A. E.	
	その他著者 3	Yahanda, A.	
	その他著者 4	Smith, J. W., 2nd	
	その他著者 5	Hamlet, K. R.	

	その他著者 6	Sondak, V. K.	
	その他著者 7		
	その他著者 8		

一次研究の 8 項目	目的	Stage III の黒色腫患者における CT スキャンの意義を検証する	
	研究デザイン	後ろ向きコホート研究および症例対照研究	
	セッティング	University of Michigan Medical Center	
	対象者	CT による検索を行った stage III 悪性黒色腫患者 127 人	
	対象者情報（国籍）	1.日本人 2.日本人以外 3.国籍区別せず （ 2 ）	
	対象者情報（性別）	1.男性 2.女性 3.男女区別せず （ 3 ）	
	対象者情報（年齢）	1.乳幼児 2.小児 3.青年 4.中高年 5.老人 6.乳幼児・小児 7.乳幼児・小児・青年 8.乳幼児・小児・青年・中高年 9.乳幼児・小児・青年・中高年・老人 10.小児・青年 11.小児・青年・中高年 12.小児・青年・中高年・老人 13.青年・中高年 14.青年・中高年・老人 15.中高年・老人 16.乳幼児・青年 17.乳幼児・中高年 18.乳幼児・老人 19.小児・中高年 20.小児・老人 21.青年・老人 22.年齢区別せず （ 22 ）	
	介入（要因曝露）		
	エンドポイント（アウトカム）	エンドポイント	区分
	1	転移検出率	1.主要 2.副次 3.その他 (1)
	2		1.主要 2.副次 3.その他 ()
	3		1.主要 2.副次 3.その他 ()
	4		1.主要 2.副次 3.その他 ()
	5		1.主要 2.副次 3.その他 ()
	6		1.主要 2.副次 3.その他 ()
	7		1.主要 2.副次 3.その他 ()
	8		1.主要 2.副次 3.その他 ()
	9		1.主要 2.副次 3.その他 ()
	10		1.主要 2.副次 3.その他 ()
	主な結果	426 回の CT スキャンが行われた。20 人が true positive、15 人が false positive であった。リンパ節転移が macro と occult の 2 群で転移の検出率に差はなかった。鼠径リンパ節転移陽性群の方が腋窩や頸部リンパ節陽性群よりも、腹部骨盤内転移の発生率が高かった。	
	結論	アジュバント治療の適応を決める上でも CT による検索は重要である	
	備考		
レビューワーコメント	レビューワー氏名	八田尚人	
	レビューワーコメント	エビデンスのレベル分類（ IV ） CT による up stage が治療方針を変えることがあるので、意義があるとする論文。予後に与える影響は検討していない。	